

# くらき永田保育園便り



「保育士が考えた到達目標をクリアする運動会」から「子ども自身が考えた遊びの延長線上の運動会ごっこ」また、「子どもが参加するだけでなく参画する運動会」への変革をテーマにした「こどもまんなか」の運動会は如何だったでしょうか？『話し合い⇒実践し⇒振り返り、向上させる』といった姿が生活場面でたくさん見られたことは現場の我々にとっても嬉しい出来事でした。振り返って競技内容を見てみると かけっこや玉入れ、綱引きなど運動会では定番のプログラムが並んでいるように見えますが、演出やお手伝いなどにも個性が溢れていていました。これからも予定調和的な“やらせる行事”ではなく、面倒くさいプロセスはあっても子どもの意見も取り入れられた生活を大切にしていきたいと思います。

## 保育園からのお知らせ & お願い

運動会では赤い羽根募金に協力していただきありがとうございました。共同募金は私たちのような福祉活動を側面的に支えてくれている団体です。

10/1~12/31 の期間は赤い羽根共同募金の運動期間ですので、引き続き玄関ホール付近で募金活動を続けます。保育活動への後方支援を宜しくお願いします。

## 10月26日(土)は「こどもまんなかテラス」です!!

子育て・保育の社会化を目指して地域子育て支援イベント「こどもまんなかテラス」の全容が明らかになってきました。園庭では歌やダンスのショーに加え、ラストにはテレビでも有名な杉山兄弟によるシャボン玉ショーが行われます。また、フードコートには子どもたちでも安心のオーガニックな食べものや三浦の小川農園さん、またいつもお世話になっている地元のお店屋さんも大集合して選ぶのが大変そうです。さらに保育室には魅力的なワークショップが勢ぞろい、今回のテーマは様々な廃材のアップサイクルです。ごみとして捨てられてしまいそうな素材が素敵な宝物に変えていく行程を是非親子で体験して下さい。約8年ぶりに行われる大規模なお祭りですので卒園児や地域の方も大集合してにぎやかな一日になりそうです。今後は当日お手伝いして下さる魅力的な皆さんをインスタなど紹介していこうと思っています。お友達と一緒に遊びに来て下さい。

## 生き物たちのダイバーシティ&インクルージョン

「秋にカメムシが多いと冬は雪が多い」と昔から言われますが、今年はどうでしょう？実はカメムシ目には仲間が多く、セミ、アブラムシも同じグループも今年は数多くみられました。くらき永田保育園の木育係の保育士たちは虫や生き物たちの子育て支援も工夫してくれているので年々、生物の多様性が豊かになってきています。先日も園庭でカメムシに出会いました。触ると悪臭を放つこの虫も子どもたちにとっては友達のように、バケツの中に大切に捕獲してあったカメムシを「園長先生にはあげるね」と2匹をポケットに入れてもらいました。

# 各クラスの『カラダを使った遊び方』をお伝えします！

## にこにこ



カラダを動かすことがどんどん上手になっている子どもたち。押入れが開くと”なにがでてくるのだろう”と集まってきてU字トンネルや坂マットが出てくる様子をじっと見つめています。U字トンネルでは保育士の顔を上から覗いてみたり、下から覗いてみたりして、トンネルをくぐってみようか悩んでいるような子どもの様子も見られました。保育士が向こう側から呼びかけるとゆっくりと手を前にだしてハイハイをしていき、くぐり抜けることが出来ると満足そうな笑顔を見せてくれています。カラダを動かすわらべうたも大人気です。『ぎっこぼっこ』や『つぶどんつぶどん』のわらべうたを保育士が歌うと体を揺らして嬉しそうに笑っています。保育士が歌い終わると保育士の手を握ってカラダを前後や上下に動かして”もうっかい”とアピールしてくれています。ご家庭でもお子様とわらべうたを楽しんでください。



\*HPのわらべうた動画を参考にしてください。



## よちよち



”走ること”と”ジャンプ”が大好きな子どもたち。

走る時には、友だちが楽しそうに走っている姿を見て参加したり、「一緒に行こう！」と友だちを誘って手を繋ぎながら「キャハハ」「楽しいね～」など声を出して追いかけて楽しんでいます。

また、直線だけでなく、友だちや玩具もカーブを使ってうまく避けられるようになっています。

ジャンプでは、うさぎやカエルになりきってその場で友だちと一緒に「ぴよんぴよん」しています。粗大のジャンプにも挑戦！初めは怖がって保育士と手を繋いで着地しては笑顔を見せていました。その後は一人で跳ぼうと何度も自分のタイミングを見計らってから意を決してジャンプしていました。

慣れてくると膝下の高さから腰ぐらい、子どもによっては自分の胸以上の高さまである粗大によじ登ってジャンプをする姿が増えてきました。

これからも”自分のやりたい””出来た”の気持ちを大切に、見守っていきたいと思います。





## すくすく

先日、園庭にあった黄色のサークル（ストリートファニチャー）が2階のテラスにやってくると「なにこれ～！」と興味津々で近づいていた子どもたち。

上に登る子が出てくると次々に挑戦する姿がありましたが、普段遊んでいる雲梯と異なり棒と棒の間隔が広いため、上に登ることや高いところまで移動することは難しい様子の子も多くいました。「できない」と言いながらも繰り返し上に登り、足を掛ける位置や手で握る位置をその都度変えて試行錯誤しながら遊ぶ姿がありました。また、高低差を利用してぶら下がってみたり椅子にしてみたり、下をくぐってみたり跨いでみたりして思い思いに遊ぶ姿もありました。

テラスでカラダを動かすことが大好きなすくすくさんは、それぞれがやりたい気持ちを大切にカラダを動かして遊具と関わっています。



## 異年齢

先月は運動会に向けて、踊る・投げる・走る・渡る・登る・跳ぶ・引っ張る、そして、力を合わせる等様々なカラダを使った遊びを楽しみました。音楽や道具、友だちの姿をきっかけに遊び始める子どもたち。楽しさを感じて繰り返し遊び、遊んでいるうちにくもっと速く・もっと強く・もっと格好良く・もっと面白く」と目標が出てきて、そうなるにはどうしたら良いかを考えて試して遊びを展開させていました。

同じ遊びでも、どこに楽しさを感じるかは子どもによって違います。最初からできる簡単さが楽しい子、ちょっと難しいことに挑戦するのが楽しい子、できなかったのができるようになるのが楽しい子、自分でするより友だちが遊ぶのを見ているのが楽しい子など様々です。保育士は、そんな一人ひとりの姿に合わせて、どのように関わっていくとその子の楽しいが深まっていくかを考えながら関わるようにしています。

毎年、運動会の経験がカラダを使った遊びへの意欲になる子どもも多いので、これから子どもたちがどんな風に遊んでいくのか楽しみです。





## 給食室

8月頃、裏門を入れて左に少し進んだところから、見慣れない植物の芽が伸びていることを給食室の1人が発見しました。

葉っぱのかたちを見て、きゅうり？かぼちゃ？へちま？と色々な予想をしつつ、水を上げたり、支柱を立てたりと、お世話をしてくれていました。

9月になると黄色の花が咲き、中旬頃ようやく実がつけました。

写真を撮って調べてみると、メロンの実だとわかりました。

10月には、どれくらい大きくなっているのか、収穫できるのか、給食室みんなで行く末を見守っています。

みなさんも近くを通った際には、メロンの様子を観察してみてください。

## 木育係より

秋と言えば実りの秋！子どもたちが、収穫を待っている『どんぐり』が実る頃です。保育園のどんぐりも少しずつ茶色くなってきてはいるものの、まだまだ緑色で小さくて「どんぐりの赤ちゃん、大きくならないかな～」と首を長くし、毎日園庭に出ると、どんぐり探しから始まります。「ログハウスにたくさんあるよ！」「清水ヶ丘公園にもあるよ！」と情報が集まってきています。今後、

たくさんのだんぐりを使って秋の遊びを楽しめたらと思っているので、ここで保護者の方にお願ひがあります。登降園時やお休みの日にお出掛けをした際にどんぐりを見つけたら拾って来てくれると嬉しいです。

木育係では年に1回、職員会議で各クラスの『自然遊び』を楽しむ姿を『ふしぎ発見アワード』で実践発表をしています。その中で選ばれたクラスが保育園の代表として『科学する心を育てる』論文にエントリーしています。昨年に続き今年も「よちよち組」が選ばれました。論文テーマは「ヒカリ」です。結果は1月に出るので皆さん、楽しみにしててくださいね。

## 今月の行事

- 2日(水) 公園種蒔き(いきいき)
- 10日(木) 芋掘り(すくすく・のびのび)
- 12日(土) 布団乾燥
- 14日(月) スポーツの日
- 17日(木) 久保先生のわらべうた
- 22日(火) 収穫祭
- 23日(水) 総合防災訓練
- 26日(土) 地域ふれあいデー
- 30日(水) 内科健診②